

熱  
痛  
痛



のどが  
痛あ〜い!

# 発熱・のどの痛み 溶連菌感染症にご注意を

平成 29 年 5 月 17 日  
富山県感染症情報センター  
(直 0766-56-5431)  
(直 0766-56-8142)

## 感染症発生動向速報

(平成 29 年第 19 週分・5 月 8 日～5 月 14 日)

### 《 インフォメーション 》

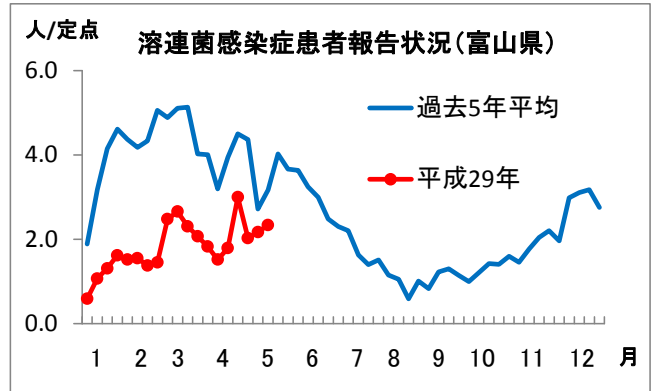
#### ● A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (溶連菌感染症)

今週、溶連菌感染症の報告数が定点医療機関あたり 2.34 人となり、先週 (2.17) より増加しました。例年に比べ報告数は多くありませんが、この感染症は冬～春にかけて報告数が増加するので注意が必要です (図参照)。

溶連菌感染症は、A 群溶血性レンサ球菌が原因となる疾患です。主にのどに感染して咽頭炎や扁桃炎などを引き起こします。潜伏期間は 2～4 日です。主な症状は、発熱 (38～39℃) やのどの痛みです。体や手足に小さくて赤い発疹が出たり、舌に赤いブツブツができたりします (イチゴ舌)。

また、小児では悪心、嘔吐および腹痛を伴うこともあります。抗生物質の投与により治療できるため、治療経過は一般的に良好ですが、症状が消失しても投薬期間 (約 10 日間) はしっかりと薬を飲み続ける必要があります。

患者は、4～5 歳をピークとして 6 歳以下が全体の約 7 割を占めています。小さなお子さんのいる家庭や保育所・幼稚園では、二次感染に注意してください。溶連菌感染症は人のせきやくしゃみ、つばなどのしぶきに含まれる細菌によって感染します (飛沫感染)。また、排出された細菌が手などを介し、口に入ることによって感染します (経口感染)。感染予防のために、手洗いやうがいをおこなってください。



### 《 全数報告の感染症 》

二類感染症 結核 2 件 (①60 歳代、男性 ②80 歳代、女性)

四類感染症 レジオネラ症 1 件 (70 歳代、男性、肺炎型)

五類感染症 アメーバ赤痢 1 件 (第 18 週診断分：40 歳代、男性)

侵襲性肺炎球菌感染症 1 件 (第 18 週診断分：70 歳代、男性)

梅毒 1 件 (第 15 週診断分：10 歳代、女性、無症状)

### 《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患

順位	疾病名	定点あたりの数		
		今週	先週	増減
1 位	感染性胃腸炎	11.48	6.07	↑
2 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2.34	2.17	↑
3 位	流行性耳下腺炎	1.59	0.93	↑
4 位	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	1.40	0.40	↑
5 位	インフルエンザ	1.21	1.21	→
6 位	流行性角結膜炎	1.14	1.71	↓

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます  
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成29年第19週 平成29年5月8日～平成29年5月14日）

分類	疾患	今週報告分（第19週）						累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
二類感染症	結核			1		1	2	8	4	14	8	29	63	
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									1	1	1	3	
四類感染症	A型肝炎							2				1	3	
	デング熱											1	1	
	レジオネラ症	1					1	1		5		3	9	
五類感染症	アメーバ赤痢											2	2	
	ウイルス性肝炎							1					1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症										4		4	
	急性脳炎（ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介性脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く）											1	1	
	クロイツフェルト・ヤコブ病											1	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症									2		3	5	
	後天性免疫不全症候群									1		1	2	
	ジアルジア症							2					2	
	侵襲性インフルエンザ菌感染症									1	1	1	3	
	侵襲性肺炎球菌感染症							3		1	1	10	15	
	梅毒										2		2	4
	定点疾病 (下段は定点当たりの患者数を示す)	インフルエンザ	7	8	14	11	18	58	1,882	1,357	2,429	1,544	3,400	10,612
		1.00	1.60	1.08	1.57	1.13	1.21							
RSウイルス感染症		4			5	7	16	24	21	19	31	263	358	
		1.00			1.25	0.70	0.55							
咽頭結膜熱		1		6	2	4	13	11	13	108	49	67	248	
		0.25		0.75	0.50	0.40	0.45							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		6	2	27	10	23	68	75	23	430	159	319	1,006	
		1.50	0.67	3.38	2.50	2.30	2.34							
感染性胃腸炎		31	37	63	27	175	333	743	459	606	394	1,409	3,611	
		7.75	12.33	7.88	6.75	17.50	11.48							
水痘			2	5	3	7	17	3	25	56	21	65	170	
			0.67	0.63	0.75	0.70	0.59							
手足口病			1	8		19	28		14	64	6	93	177	
			0.33	1.00		1.90	0.97							
伝染性紅斑										2	1	7	10	
突発性発しん		1	1	6	1	7	16	19	12	73	30	58	192	
		0.25	0.33	0.75	0.25	0.70	0.55							
百日咳										2			2	
ヘルパンギーナ			1	1			2	5	4	7	4		20	
			0.33	0.13			0.07							
流行性耳下腺炎		4	11	13	1	17	46	86	55	314	65	260	780	
		1.00	3.67	1.63	0.25	1.70	1.59							
急性出血性結膜炎									2	2		4		
流行性角結膜炎			5	1	2	8		1	179	2	2	184		
			2.50	1.00	1.00	1.14								
細菌性髄膜炎							1					1		
無菌性髄膜炎							1					1		
マイコプラズマ肺炎			1			1	9	2	9	7	10	37		
			1.00			0.20								
感染性胃腸炎（ロタウイルス）			2	3	2	7	10		10	19	7	46		
			2.00	3.00	2.00	1.40								
インフルエンザによる入院患者（*）		0	0	0	1	0	1	53	3	37	102	97	292	

## インフルエンザ定点における患者診断状況

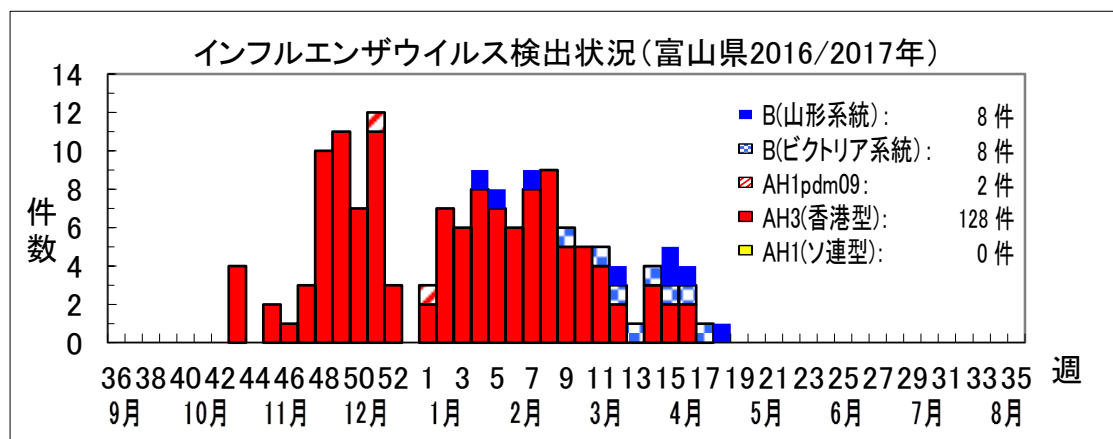
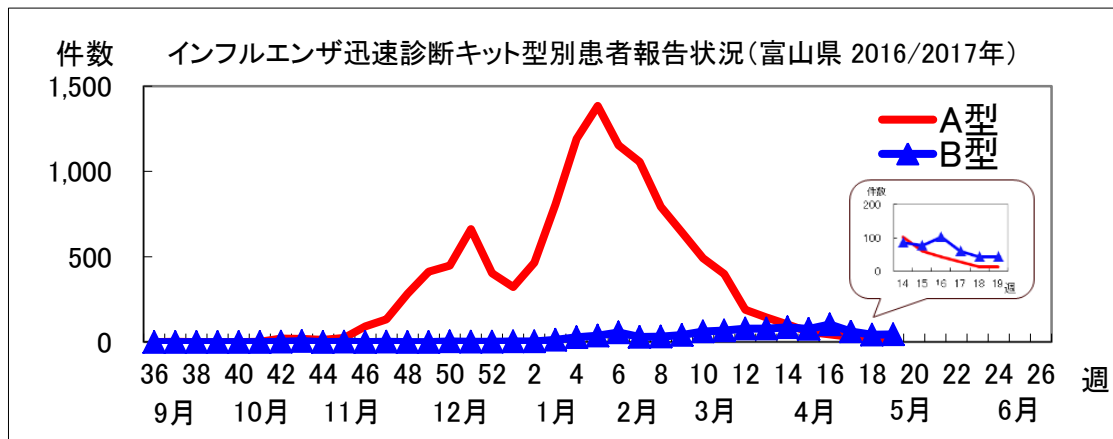
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。現在、下の表によると、B型が75.9%となっています。

**第19週(5/8～5/14)：富山県 1.21人/定点** (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ※2	合計
		A型	B型		
新川	5 / 7	4	3	0	7
中部	2 / 5	4	4	0	8
高岡	5 / 13	0	14	0	14
砺波	4 / 7	2	9	0	11
富山市	9 / 16	4	14	0	18
富山県	25 / 48 ※1	14	44	0	58
富山県累計(2016年36週～)		11,820	955	452	13,227

※1 報告定点数の例(25/48の場合):48の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が25か所あったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



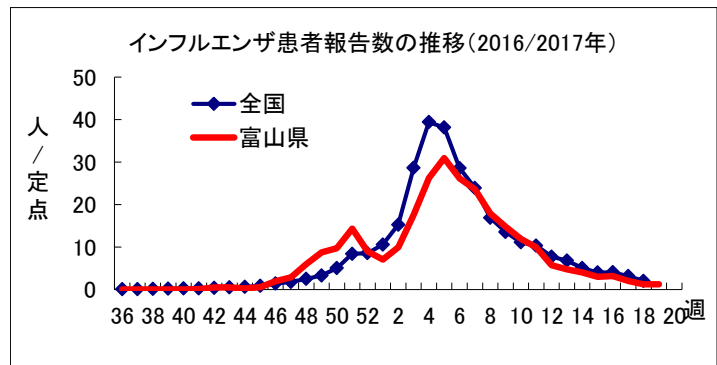


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第19週 (5/8~5/14) : 富山県 1.21 人/定点

新川 HC (1.00)、中部 HC (1.60)、高岡 HC (1.08)、砺波 HC (1.57)、富山市 HC (1.13)

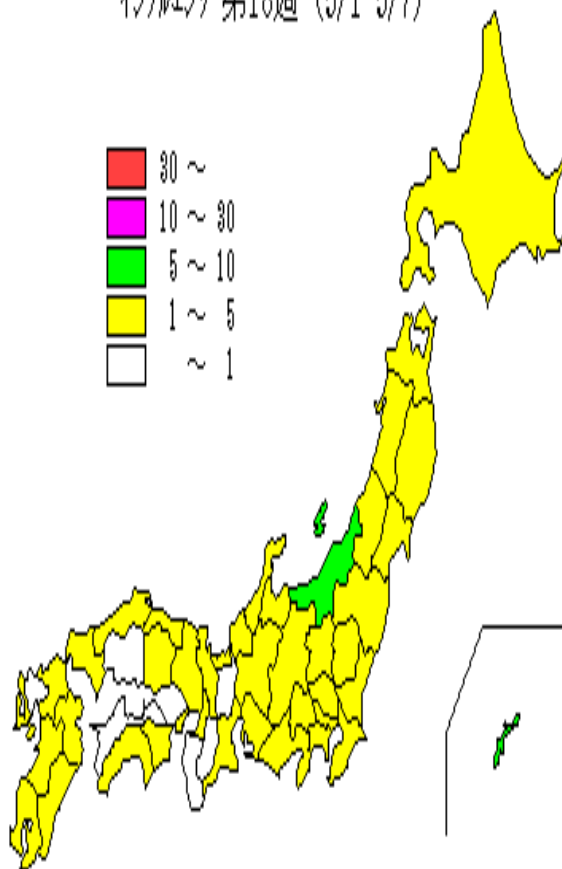
インフルエンザの流行は全国・県内とも終息に向かっていると思われま



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第18週 (5/1~5/7)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 2.03 人となり、前週の定点あたり 3.13 人より減少しました。44 都道府県で前週より報告数が減少しています。

インフルエンザ第18週 (5/1-5/7)



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	4.39	滋賀県	0.92
青森県	2.22	京都府	1.39
岩手県	2.94	大阪府	1.05
宮城県	2.93	兵庫県	1.23
秋田県	2.41	奈良県	0.43
山形県	3.42	和歌山県	0.47
福島県	4.39	鳥取県	1.34
茨城県	1.53	島根県	1.32
栃木県	2.29	岡山県	1.02
群馬県	2.79	広島県	0.60
埼玉県	2.30	山口県	1.21
千葉県	1.93	徳島県	1.67
東京都	1.75	香川県	0.77
神奈川県	1.39	愛媛県	0.98
新潟県	5.46	高知県	1.15
富山県	1.21	福岡県	1.55
石川県	2.46	佐賀県	0.71
福井県	4.22	長崎県	2.19
山梨県	1.07	熊本県	3.56
長野県	3.42	大分県	2.45
岐阜県	2.14	宮崎県	1.85
静岡県	1.43	鹿児島県	1.45
愛知県	1.70	沖縄県	8.86
三重県	1.26	全国	2.03

○感染症発生動向調査報告状況（平成29年4月分）

		4月報告分					累積報告数							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症		1	3		5	9		1	10		17	28	
			1.00	1.00		1.25	0.90							
	性器ヘルペスウイルス感染症		1	1	1	1	4		4	5	1	4	14	
			1.00	0.33	1.00	0.25	0.40							
尖圭コンジローマ				1	2	1	4			5	3	4	12	
				0.33	2.00	0.25	0.40							
淋菌感染症				1		1	2			2		3	5	
				0.33		0.25	0.20							
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		2	2	1	1	4	10	6	10	3	6	10	35
			2.00	2.00	1.00	1.00	4.00	2.00						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症									1	4	3	8	

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。